

階差数列クイズ

1 次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$1, 4, 11, 22, 37, 56, \dots$$

解答 $a_n = 2n^2 - 3n + 2$

解説

数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると、 $\{b_n\}$ は

$$3, 7, 11, 15, 19, \dots$$

となり、これは初項 3、公差 4 の等差数列である。

$$\text{よって } b_n = 3 + (n-1) \cdot 4 = 4n - 1$$

ゆえに、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k-1) = 1 + 4 \sum_{k=1}^{n-1} k - \sum_{k=1}^{n-1} 1 \\ &= 1 + 4 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n - (n-1) \end{aligned}$$

$$\text{すなわち } a_n = 2n^2 - 3n + 2 \quad \dots \text{ ①}$$

初項は $a_1 = 1$ なので、①は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = 2n^2 - 3n + 2$

2 次の数列の一般項を求めよ。

$$(1) 2, 7, 14, 23, 34, 47, \dots$$

$$(2) 1, 4, 13, 40, 121, 364, \dots$$

解答 (1) $n^2 + 2n - 1$ (2) $\frac{1}{2}(3^n - 1)$

解説

与えられた数列を $\{a_n\}$ とし、その階差数列を $\{b_n\}$ とする。

(1) 階差数列 $\{b_n\}$ は

$$5, 7, 9, 11, 13, \dots$$

となり、これは初項 5、公差 2 の等差数列である。

$$\text{よって } b_n = 2n + 3$$

ゆえに、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (2k+3) = 2 + 2 \sum_{k=1}^{n-1} k + \sum_{k=1}^{n-1} 3 \\ &= 2 + 2 \cdot \frac{1}{2} n(n-1) + 3(n-1) \end{aligned}$$

$$\text{すなわち } a_n = n^2 + 2n - 1 \quad \dots \text{ ①}$$

初項は $a_1 = 2$ なので、①は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = n^2 + 2n - 1$

(2) 階差数列 $\{b_n\}$ は

$$3, 9, 27, 81, 243, \dots$$

となり、これは初項 3、公比 3 の等比数列である。

$$\text{よって } b_n = 3 \cdot 3^{n-1} = 3^n$$

$$\text{ゆえに、 } n \geq 2 \text{ のとき } a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 3^k = 1 + \frac{3(3^{n-1} - 1)}{3 - 1}$$

$$\text{すなわち } a_n = \frac{1}{2}(3^n - 1) \quad \dots \text{ ①}$$

初項は $a_1 = 1$ なので、①は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = \frac{1}{2}(3^n - 1)$

3 次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。[18 点]

$$2, 5, 11, 20, 32, 47, \dots$$

解答 数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると、

$$\{b_n\} \text{ は } 3, 6, 9, 12, 15, \dots \text{ であるから } b_n = 3n$$

$$\text{よって、 } n \geq 2 \text{ のとき } a_n = 2 + \sum_{k=1}^{n-1} 3k = 2 + 3 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n$$

$$\text{すなわち } a_n = \frac{3}{2}n^2 - \frac{3}{2}n + 2 \quad \dots \text{ ①}$$

初項は $a_1 = 2$ なので、①は $n = 1$ のときにも成り立つ。

$$\text{したがって、一般項は } a_n = \frac{3}{2}n^2 - \frac{3}{2}n + 2 = \frac{1}{2}(3n^2 - 3n + 4)$$

解説

数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると、

$$\{b_n\} \text{ は } 3, 6, 9, 12, 15, \dots \text{ であるから } b_n = 3n$$

$$\text{よって、 } n \geq 2 \text{ のとき } a_n = 2 + \sum_{k=1}^{n-1} 3k = 2 + 3 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n$$

$$\text{すなわち } a_n = \frac{3}{2}n^2 - \frac{3}{2}n + 2 \quad \dots \text{ ①}$$

初項は $a_1 = 2$ なので、①は $n = 1$ のときにも成り立つ。

$$\text{したがって、一般項は } a_n = \frac{3}{2}n^2 - \frac{3}{2}n + 2 = \frac{1}{2}(3n^2 - 3n + 4)$$

4 次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$6, 15, 28, 45, 66, \dots$$

解答 $a_n = 2n^2 + 3n + 1$

解説

数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると

$$\{a_n\} : 6, 15, 28, 45, 66, \dots$$

$$\{b_n\} : 9, 13, 17, 21, \dots$$

数列 $\{b_n\}$ は、初項 9、公差 4 の等差数列であるから

$$b_n = 9 + (n-1) \cdot 4 = 4n + 5$$

$$\text{よって } n \geq 2 \text{ のとき } a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 6 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k+5) = 6 + 4 \sum_{k=1}^{n-1} k + 5 \sum_{k=1}^{n-1} 1$$

$$= 6 + 4 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 5(n-1)$$

$$= 2n^2 + 3n + 1 \quad \dots \text{ ①}$$

$$\text{初項は } a_1 = 6 \text{ であるから、①は } n = 1 \text{ のときも成り立つ。}$$

$$\text{したがって } a_n = (n+1)(2n+1)$$

5 次の数列の一般項を求めよ。

$$(1) 2, 10, 24, 44, 70, 102, \dots$$

$$(2) 3, 4, 7, 16, 43, 124, \dots$$

解答 (1) $3n^2 - n$ (2) $\frac{1}{2}(3^{n-1} + 5)$

解説

与えられた数列を $\{a_n\}$ とし、その階差数列を $\{b_n\}$ とする。

$$(1) \{a_n\} : 2, 10, 24, 44, 70, 102, \dots$$

$$\{b_n\} : 8, 14, 20, 26, 32, \dots$$

数列 $\{b_n\}$ は、初項 8、公差 6 の等差数列であるから $b_n = 8 + (n-1) \cdot 6 = 6n + 2$

$$\text{よって } n \geq 2 \text{ のとき } a_n = 2 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k+2) = 2 + 6 \sum_{k=1}^{n-1} k + 2 \sum_{k=1}^{n-1} 1$$

$$= 2 + 6 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 2(n-1) = 3n^2 - n \quad \dots \text{ ①}$$

$$n=1 \text{ のとき } 3n^2 - n = 3 \cdot 1^2 - 1 = 2$$

初項は $a_1 = 2$ であるから、①は $n = 1$ のときも成り立つ。

$$\text{したがって } a_n = 3n^2 - n$$

$$(2) \{a_n\} : 3, 4, 7, 16, 43, 124, \dots$$

$$\{b_n\} : 1, 3, 9, 27, 81, \dots$$

数列 $\{b_n\}$ は、初項 1、公比 3 の等比数列であるから $b_n = 3^{n-1}$

$$\text{よって } n \geq 2 \text{ のとき } a_n = 3 + \sum_{k=1}^{n-1} 3^{k-1} = 3 + \frac{3^{n-1} - 1}{3 - 1} = \frac{1}{2}(3^{n-1} + 5) \quad \dots \text{ ①}$$

$$n=1 \text{ のとき } \frac{1}{2}(3^{n-1} + 5) = \frac{1}{2}(1+5) = 3$$

初項は $a_1 = 3$ であるから、①は $n = 1$ のときも成り立つ。

$$\text{したがって } a_n = \frac{1}{2}(3^{n-1} + 5)$$

6 次の数列の一般項を求めよ。

$$6, 24, 60, 120, 210, 336, 504, \dots$$

解答 $n^3 + 3n^2 + 2n$

解説

与えられた数列を $\{a_n\}$ とし、その階差数列を $\{b_n\}$ とする。

また、数列 $\{b_n\}$ の階差数列を $\{c_n\}$ とすると

$$\{a_n\} : 6, 24, 60, 120, 210, 336, 504, \dots$$

$$\{b_n\} : 18, 36, 60, 90, 126, 168, \dots$$

$$\{c_n\} : 18, 24, 30, 36, 42, \dots$$

数列 $\{c_n\}$ は、初項 18、公差 6 の等差数列であるから

$$c_n = 18 + (n-1) \cdot 6 = 6n + 12$$

$$\text{よって } n \geq 2 \text{ のとき } b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} c_k = 18 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k+12)$$

$$= 18 + 6 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 12(n-1) = 3n^2 + 9n + 6$$

初項は $b_1 = 18$ であるから、この式は $n = 1$ のときも成り立つ。

$$\text{ゆえに } b_n = 3n^2 + 9n + 6 \quad (n \geq 1)$$

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned}
a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 6 + \sum_{k=1}^{n-1} (3k^2 + 9k + 6) \\
&= 6 + 3 \cdot \frac{1}{6} (n-1)n(2n-1) + 9 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 6(n-1) \\
&= \frac{n}{2} \cdot 2(n^2 + 3n + 2) = n^3 + 3n^2 + 2n
\end{aligned}$$

初項は $a_1 = 6$ であるから、この式は $n=1$ のときも成り立つ。

$$\text{したがって } a_n = n^3 + 3n^2 + 2n$$

7 次の数列の一般項を求めよ。

$$2, 10, 38, 80, 130, 182, 230, \dots$$

解答 $-n^3 + 16n^2 - 33n + 20$

解説

与えられた数列を $\{a_n\}$ 、その階差数列を $\{b_n\}$ とする。

また、数列 $\{b_n\}$ の階差数列を $\{c_n\}$ とすると

$$\{a_n\} : 2, 10, 38, 80, 130, 182, 230, \dots$$

$$\{b_n\} : 8, 28, 42, 50, 52, 48, \dots$$

$$\{c_n\} : 20, 14, 8, 2, -4, \dots$$

数列 $\{c_n\}$ は、初項 20、公差 -6 の等差数列であるから

$$c_n = 20 + (n-1) \cdot (-6) = -6n + 26$$

$n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned}
b_n &= b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} c_k = 8 + \sum_{k=1}^{n-1} (-6k + 26) = 8 - 6 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 26(n-1) \\
&= -3n^2 + 29n - 18
\end{aligned}$$

初項は $b_1 = 8$ であるから、この式は $n=1$ のときも成り立つ。

$$\text{ゆえに } b_n = -3n^2 + 29n - 18 \quad (n \geq 1)$$

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned}
a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 2 + \sum_{k=1}^{n-1} (-3k^2 + 29k - 18) \\
&= 2 - 3 \cdot \frac{1}{6} (n-1)n(2n-1) + 29 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n - 18(n-1) \\
&= \frac{1}{2} [4 - n(n-1)(2n-1) + 29n(n-1) - 36(n-1)] \\
&= -n^3 + 16n^2 - 33n + 20
\end{aligned}$$

初項は $a_1 = 2$ であるから、この式は $n=1$ のときも成り立つ。

$$\text{したがって } a_n = -n^3 + 16n^2 - 33n + 20$$

8 次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$2, 7, 18, 35, 58, \dots$$

解答 $a_n = 3n^2 - 4n + 3$

解説

数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると

$$\{a_n\} : 2, 7, 18, 35, 58, \dots$$

$$\{b_n\} : 5, 11, 17, 23, \dots$$

数列 $\{b_n\}$ は、初項 5、公差 6 の等差数列であるから

$$b_n = 5 + (n-1) \cdot 6 = 6n - 1$$

$n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned}
a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 2 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k - 1) = 2 + 6 \sum_{k=1}^{n-1} k - \sum_{k=1}^{n-1} 1 \\
&= 2 + 6 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n - (n-1) = 3n^2 - 4n + 3 \quad \dots \text{①}
\end{aligned}$$

$$n=1 \text{ のとき } 3n^2 - 4n + 3 = 3 \cdot 1^2 - 4 \cdot 1 + 3 = 2$$

初項は $a_1 = 2$ であるから、①は $n=1$ のときも成り立つ。

$$\text{したがって } a_n = 3n^2 - 4n + 3$$

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 3^{k-1} = 1 + \frac{3^{n-1} - 1}{3 - 1}$$

$$\text{すなわち } a_n = \frac{1}{2} (3^{n-1} + 1) \quad \dots \text{①}$$

初項は $a_1 = 1$ であるから、①は $n=1$ のときにも成り立つ。

$$\text{よって、もとの数列の第 } n \text{ 項は } \frac{1}{2} (3^{n-1} + 1)$$

10 次の数列の一般項を求めよ。

$$(1) 0, 4, 18, 48, 100, 180, 294, \dots$$

$$(2) 6, 24, 60, 120, 210, 336, 504, \dots$$

解答 順に

$$(1) n^3 - n^2 \quad (2) n(n+1)(n+2)$$

解説

与えられた数列を $\{a_n\}$ 、 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ 、 $\{b_n\}$ の階差数列を $\{c_n\}$ とする。

また、 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とする。

$$(1) \{b_n\} : 4, 14, 30, 52, 80, 114, \dots$$

$$\{c_n\} : 10, 16, 22, 28, 34, \dots$$

$$\text{よって } c_n = 10 + (n-1) \cdot 6 = 6n + 4$$

ゆえに、 $n \geq 2$ のとき

$$b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k + 4) = 4 + 6 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 4(n-1)$$

$$\text{すなわち } b_n = 3n^2 + n \quad \dots \text{①}$$

初項は $b_1 = 4$ であるから、①は $n=1$ のときにも成り立つ。

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (3k^2 + k) = 0 + 3 \cdot \frac{1}{6} (n-1)n(2n-1) + \frac{1}{2} (n-1)n$$

$$\text{すなわち } a_n = n^3 - n^2 \quad \dots \text{②}$$

初項は $a_1 = 0$ であるから、②は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって、求める一般項は $n^2(n-1)$

$$(2) \{b_n\} : 18, 36, 60, 90, 126, 168, \dots$$

$$\{c_n\} : 18, 24, 30, 36, 42, \dots$$

$$\text{よって } c_n = 18 + (n-1) \cdot 6 = 6n + 12$$

ゆえに、 $n \geq 2$ のとき

$$b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k + 12) = 18 + 6 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 12(n-1)$$

$$\text{すなわち } b_n = 3n^2 + 9n + 6 \quad \dots \text{①}$$

初項は $b_1 = 18$ であるから、①は $n=1$ のときにも成り立つ。

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (3k^2 + 9k + 6)$$

$$= 6 + 3 \cdot \frac{1}{6} (n-1)n(2n-1) + 9 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + 6(n-1)$$

$$= \frac{1}{2} n[(n-1)(2n-1) + 9(n-1) + 12]$$

$$= n(n^2 + 3n + 2)$$

その一般項を b_n とすると、 $b_n = 4n$ である。

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 4k = 1 + 4 \cdot \frac{1}{2}(n-1)n$$

すなわち $a_n = 2n^2 - 2n + 1$

初項は $a_1 = 1$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

ゆえに、一般項は $a_n = 2n^2 - 2n + 1$

(2) この数列の階差数列は 2, 4, 8, 16, ……

その一般項を b_n とすると、 $b_n = 2^n$ である。

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 2^k = 5 + \frac{2(2^{n-1} - 1)}{2 - 1}$$

すなわち $a_n = 2^n + 3$

初項は $a_1 = 5$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

ゆえに、一般項は $a_n = 2^n + 3$

(3) この数列の階差数列は 1, 4, 9, 16, ……

その一般項を b_n とすると、 $b_n = n^2$ である。

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} k^2 = 1 + \frac{1}{6}(n-1)n(2n-1)$$

すなわち $a_n = \frac{1}{6}(2n^3 - 3n^2 + n + 6)$

初項は $a_1 = 1$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

ゆえに、一般項は $a_n = \frac{1}{6}(2n^3 - 3n^2 + n + 6)$

注意 $f(n) = 2n^3 - 3n^2 + n + 6$ とおくと $f(-1) = 0$ であるから、因数定理(数学II)により、 $f(n)$ は $n+1$ を因数にもつ。

$a_n = \frac{1}{6}(n+1)(2n^2 - 5n + 6)$ と表してもよい。

(4) この数列の階差数列は 7, 11, 15, 19, ……

この階差数列は初項7、公差4の等差数列であるから、その一般項を b_n とすると

$$b_n = 7 + (n-1) \cdot 4$$

すなわち $b_n = 4n + 3$

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k+3) = 2 + 4 \sum_{k=1}^{n-1} k + \sum_{k=1}^{n-1} 3 = 2 + 4 \cdot \frac{1}{2}(n-1)n + 3(n-1)$$

すなわち $a_n = 2n^2 + n - 1$

初項は $a_1 = 2$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = 2n^2 + n - 1$

注意 $a_n = (n+1)(2n-1)$ と表してもよい。

すなわち $b_n = 6n - 1$

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k-1) = 0 + 6 \cdot \frac{1}{2}(n-1)n - (n-1) = (n-1) \cdot 3n - (n-1)$$

すなわち $a_n = 3n^2 - 4n + 1$

初項は $a_1 = 0$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = 3n^2 - 4n + 1$

16 数列 3, 4, 7, 16, 35, 68, …… を $\{a_n\}$ とし、その階差数列を $\{b_n\}$ とする。

(1) 数列 $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。

(2) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

解説 (1) $b_n = 2n^2 - 4n + 3$ (2) $a_n = \frac{1}{3}(2n^3 - 9n^2 + 16n)$

解説

(1) 数列 $\{a_n\}$ の階差数列 $\{b_n\}$ は 1, 3, 9, 19, 33, ……

数列 $\{b_n\}$ の階差数列を $\{c_n\}$ とすると、 $\{c_n\}$ は 2, 6, 10, 14, ……

数列 $\{c_n\}$ は初項2、公差4の等差数列であるから、その一般項は

$$c_n = 2 + (n-1) \cdot 4$$

すなわち $c_n = 4n - 2$

よって、 $n \geq 2$ のとき

$$b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k-2) = 1 + 4 \cdot \frac{1}{2}n(n-1) - 2(n-1)$$

すなわち $b_n = 2n^2 - 4n + 3$

初項は $b_1 = 1$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $b_n = 2n^2 - 4n + 3$

(2) (1) から、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (2k^2 - 4k + 3) \\ &= 3 + 2 \cdot \frac{1}{6}(n-1)((n-1)+1)[2(n-1)+1] - 4 \cdot \frac{1}{2}n(n-1) + 3(n-1) \\ &= \frac{1}{3}n(n-1)(2n-1) - 2n(n-1) + 3n \\ &= \frac{1}{3}n[(n-1)(2n-1) - 6(n-1) + 9] \end{aligned}$$

すなわち $a_n = \frac{1}{3}(2n^3 - 9n^2 + 16n)$

初項は $a_1 = 3$ であるから、この式は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = \frac{1}{3}(2n^3 - 9n^2 + 16n)$

15 次の数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$0, 5, 16, 33, 56, \dots$$

解説 $a_n = 3n^2 - 4n + 1$

解説

この数列の階差数列は 5, 11, 17, 23, ……

この階差数列は初項5、公差6の等差数列であるから、その一般項を b_n とすると

$$b_n = 5 + (n-1) \cdot 6$$